

にらさき

第1回臨時会	P2
委員会活動報告	P4
第4回定例会・第1回臨時会議決結果 ..	P5
ここが聞きたい(一般質問)	P6

本年秋季執行

**韮崎市議会議員一般選挙より議員定数が16人になります
(現行18人)**



韮崎市議会では平成29年12月第4回定例会において、「韮崎市議会議員定数等調査特別委員会」を設置し、以後15回に及ぶ会議を行い、あらゆる視点から定数などについて慎重に調査研究を重ねてまいりました。

昨年12月の第4回定例会において、特別委員会委員長よりこれまでの調査研究の最終報告が行われ、その後、議員発議として定数を2人減とする改正案が提出されました。改正案に対して、反対の立場、賛成の立場の議員がそれぞれ討論を行い、採決の結果、賛成議員多数により定数が18人から16人へと2人減となる改正案を可決しました。

市民の皆様にはこれまでアンケートや研修会へのご参加などご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。なお、本条例改正は本年秋に執行される市議会議員一般選挙より適用されます。

就任ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、日頃より韮崎市議会に対しまして、格別のご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年、11月20日開会の第1回臨時会におきまして、私たちが議長並びに副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますと共に、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

議員定数が2人減となる定数条例の改正案が可決されましたが、市議会といたしましては、限られた人数の中で議会としての機能を低下させることなく、今後も議員一人ひとりが議会活動に精進し、更なる住みよいまちづくりのため、研鑽を重ね活動を行ってまいります。

引き続き、韮崎市議会への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。



宮川議長

浅川副議長

平成30年第1回

臨時会

11月

平成30年第1回臨時会は、11月20日から11月22日までの3日間の会期で開催しました。本会議では条例の制定及び一部改正のほか、正副議長選挙、水道企業団議員の補欠選挙、監査委員、議会運営委員会及び各常任委員会の委員の選任を行いました。

なお、本臨時会で審議した議案等、また採決の結果については、5頁の「平成30年第1回臨時会議決結果一覧表」をご覧ください。

【各委員会の構成】

本市議会では、葦崎市議会委員会条例で議会運営委員会、総務教育常任委員会、市民生活常任委員会、産業建設常任委員会及び財務常任委員会を置くことや各委員会の定数などが定められています。なお、委員会の構成は次の通りです。

□ 議会運営委員会（7人）

委員長 西野 賢一
副委員長 清水 康雄
委員 一木 長博 森本由美子 田原 一孝
守屋 久 木内 吉英

□ 財務常任委員会（15人）

委員長 守屋 久
副委員長 小沢 栄一
委員 小林恵理子 一木 長博 森本由美子
興石 賢一 西野 賢一 山本 雄次
清水 康雄 渡辺 吉基 内藤 正之
木内 吉英 金井 洋介 秋山 祥司
功刀 正広

□ 総務教育常任委員会（6人）

委員長 森本由美子
副委員長 内藤 正之
委員 興石 賢一 宮川 文憲 浅川 裕康
渡辺 吉基

□ 市民生活常任委員会（6人）

委員長 清水 康雄
副委員長 金井 洋介
委員 小林恵理子 田原 一孝 守屋 久
小沢 栄一

□ 産業建設常任委員会（6人）

委員長 山本 雄次
副委員長 秋山 祥司
委員 一木 長博 西野 賢一 木内 吉英
功刀 正広

会派のお知らせ

平成30年11月15日会派結成届が出され、新たに「新生クラブ」が結成されました。（会長 秋山祥司議員）現在の会派は次のとおりです。

（☆印は会派会長）

（注）議会内で政策を中心とした理念を共有し、活動を共に行う議員の集まりを会派と称しています。

□ 葦真クラブ ☆田原 一孝 一木 長博 宮川 文憲 浅川 裕康
内藤 正之
□ 葦政クラブ ☆西野 賢一 守屋 久 小沢 栄一 金井 洋介
□ 協伸クラブ ☆興石 賢一 山本 雄次 木内 吉英
□ 日本共産党 ☆小林恵理子 渡辺 吉基
□ 新生クラブ ☆秋山 祥司 功刀 正広
□ 公明党 ☆森本由美子
□ 親和クラブ ☆清水 康雄

【選挙】

■ 議長選挙【投票総数18票】

当選 宮川 文憲 議員

〔宮川 文憲 議員 9票
一木 長博 議員 7票
小林恵理子 議員 2票〕

■ 副議長選挙【投票総数18票】

当選 浅川 裕康 議員

〔浅川 裕康 議員 8票 山本 雄次 議員 8票
渡辺 吉基 議員 2票〕

○浅川議員、山本議員が同数であったため、地方自治法第118条第1項の規定により公職選挙法第95条第2項の規定を準用し、くじ引きを行った結果、浅川裕康議員が当選しました。

■ 峡北地域広域水道企業団議会議員の補欠選挙について〔選挙第4号〕

本市議会議員選出議員 宮川 文憲氏が峡北地域広域水道企業団議会議員を辞職し、欠員が生じたため、補欠選挙を行いました。

当選 小林恵理子 議員（指名推選による）

【人事】

■ 監査委員の選任について〔議案第64号〕

市議会議員選出の監査委員 西野 賢一議員の辞任に伴い、その後任者の選任について市長から議会に同意を求める提案がされ、田原 一孝議員の就任に同意しました。

【条例】

■ 学校給食費管理条例〔議案第62号〕

現在、各学校（私会計）において徴収されている学校給食費について、本年4月から市の歳入歳出（公会計）で管理運営するものです。市内全ての小中学校において、給食費の徴収方法が原則口座振替となり、保護者の利便性、教職員の事務負担の軽減にもつながります。

・施行期日：平成31年4月1日

◇申請・問合せ：教育課学校教育担当22-1111（内線262～265）

平成30年第4回定例会（12月）

平成30年第4回定例会は、12月6日から12月26日までの21日間の会期で開催しました。今議会では市長から提出された一般会計補正予算（10億7,194万2千円）、介護保険特別会計補正予算（1億5,168万円）及び市立病院事業会計補正予算（9,662万2千円）のほか、条例の制定及び一部改正、請願などについて、各常任委員会や本会議などを通じて慎重に審議を重ねました。

また、最終日には議会の議員の定数を定める条例の一部改正ほか、市立老人福祉施設条例（静心寮）を廃止する条例、第7次総合計画基本構想の3案件について、採決前に反対の立場の議員、賛成の立場の議員がそれぞれ討論を行いました。

なお、本定例会で審議した議案等、また採決の結果については、5頁の「平成30年第4回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【条例】

■ 市立老人福祉施設条例を廃止する条例〔議案第72号〕

静心寮は40年以上にわたり、養護老人ホームとして身寄りがない方などを養護、措置してきましたが、定員50人に対しての入寮者数が6名と少なく（平成30年11月現在）、今後新たな入寮者の大幅増も見込めないうえに施設の老朽化も著しいことなどから、施設を安定的に管理運営していくことが困難なため、平成31年3月末をもっての閉鎖が市長から提案されました。

付託先の市民生活常任委員会では、審査の上採決した結果、挙手多数で可決すべきものとすることに決し、委員長が本会議（最終日）において報告しました。本会議では討論の申し出により、反対の立場の議員、賛成の立場の議員による討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

・施行期日：平成31年4月1日

■ 第7次総合計画基本構想について〔議案第73号〕

将来像《すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき ～チーム荏崎で 活力ある まちづくり～》

第7次総合計画基本構想は、本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るため、まちづくりの将来像を明らかにし、その実現に向けた基本方向を示したもので、計画期間は、平成31年度を初年度とし8年後の平成38年度が目標年度とされています。本会議では、反対、賛成の立場の議員がそれぞれ討論を行い、採決の結果、賛成多数で基本構想を可決しました。

【人事】

■ 教育委員会委員の任命について〔議案第75号〕

教育委員会委員 志村 臣市氏の任期が平成30年12月24日満了となるため、その後任者の任命について市長から議会に同意を求める提案がされ、齊木 美和氏（中島町）の任命に同意しました。

■ 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて〔議案第76号〕

人権擁護委員 森 きふ子氏が平成30年11月30日をもって辞任したため、その後任者の推薦について市長から議会に意見を求める提案がされ、向山 千景氏（藤井町）の推薦に同意しました。

■ 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて〔議案第77号〕

人権擁護委員 小泉 千寿子氏の任期が平成31年3月31日満了となるため、その後任者の推薦について市長から議会に意見を求める提案がされ、望月 磨理氏（若宮町）の推薦に同意しました。

【請願】

■ 葦崎市税条例において「固定資産税の分割納付金額を100円単位にすること」を求める請願〔請願第30－5号〕

提出者：市民

■ 消費税増税10%引き上げ中止を求める請願〔請願第30－6号〕

提出者：進歩と革新をめざす葦崎の会 代表世話人

委員会活動報告

総務教育常任委員会

■平成30年12月19日

委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第68号、69号、70号、71号及び第74号

・右の5議案は、審査の上、採決の結果、全員一致で可決すべきものとするに決しました。

□議案第73号

・右の議案は、審査の上、採決の結果、挙手多数で可決すべきものとするに決しました。

□請願第30－6号（新規案件）

・右の請願は、消費税10%の引き上げ中止について請願者から請願趣旨等の説明を受け審査しました。委員からは国の動向をみるため継続審査とする動議が出され、採決の結果、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。

市民生活常任委員会

■平成30年12月20日

委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第72号

・右の議案は、審査の上、採決の結果、挙手多数で可決すべきものとするに決しました。

□請願第30－5号（新規案件）

・右の請願は、固定資産税の分割納付について請願者から請願趣旨等の説明を受け審査しました。採決の結果、挙手多数で採択すべきものとするとし、併せて市長へ送付後はその処理の経過及び結果についての報告を請求すべきものとするに決しました。

産業建設常任委員会

■平成30年12月20日

委員会開催

〔主な審査事項〕

定例会では委員会付託案件がありませんでした。各課からの行政報告を受け、併せて質疑応答を行いました。

議員定数等調査 特別委員会

■平成30年12月21日

第15回委員会開催（最終開催）

特別委員会では委員会の終了が議題とされ、本会議最終日の委員会最終報告をもって委員会を終了する旨の確認や定数改正に伴う発議についてなど、特別委員会としての最後の審査を行いました。

平成30年 第4回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○：賛成 ●：反対（宮川文憲議長を除く）

議案番号	件名	功刀 正広	秋山 祥司	金井 洋介	木内 吉英	小沢 栄一	内藤 正之	渡辺 吉基	浅川 裕康	守屋 久	清水 康雄	山本 雄次	田原 一孝	西野 賢一	興石 賢一	森本由美子	一木 長博	小林恵理子	結果
議案第72号	市立老人福祉施設条例を廃止する条例	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第73号	第7次総合計画基本構想について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議第6号	市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

全会一致の議案

議案番号	件名	結果
議案第65号	平成30年度一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第66号	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第67号	平成30年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第68号	社会教育振興基金条例	可決
議案第69号	学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	可決
議案第70号	市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第71号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第74号	職員給与条例の一部を改正する条例	可決
議案第75号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
議案第77号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
請願第30-5号	市税条例において「固定資産税の分割納付金額を100円単位にすること」を求める請願	採択

平成30年 第1回臨時会議決結果一覧表

全会一致の議案

議案番号	件名	結果
議案第62号	学校給食費管理条例	可決
議案第63号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第64号	監査委員の選任について	同意
選挙第4号	峡北地域広域水道企業団議会議員の補欠選挙について	当選

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

11人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、" 荏崎市ホームページ→市議会→会議録検索 " で
ご覧いただけます。録画中継も配信しています。



内藤 正之 議員
[荏真クラブ]

市長2期目の政治 姿勢について

質問 2期目の心境と決意について伺います。

荏崎市長 この度の結果に甘んずることなく、今後も初心を忘れずに市民の皆様の声に真摯に耳を傾け「チーム荏崎」のリーダーとして、積極果敢に市政運営に邁進する決意であります。

荏崎市第7次総合 計画の基本構想に ついて

質問 7つの基本方向における具体的な施策について伺います。

荏崎市長 ①医療費無料化を18歳まで拡大し、子育て中の家庭に対する支援を充実してまいります。②障がい者等の日常生活用具の給付に対する年齢制限を全て撤廃し、支給対象者の拡大を図ってまいります。③妊婦の歯科健診料の助成を行い、健

全な出産の支援に努めてまいります。④防災行政無線のデジタル化に併せ防災アプリ機能を導入し、災害等発生時の迅速な対応と情報収集の強化を図ってまいります。

⑤市民と行政が一体となり、ごみ減量アクションプランの普及やミックス紙の分別周知等、啓発活動を強化してまいります。⑥保証限度額の増額や新たな利子補給等、小規模事業者に対する融資制度の拡充を図ってまいります。⑦ホームページをリニューアルし、様々な行政情報を広く速やかに発信するよう努めてまいります。

行政内のチェック 体制について

質問 システムの変更等を含め、確認体制について伺います。

荏崎市長 業務主管課及び情報推進担当、システム事業者の3者で変更内容の確認や他システムへの影響等、綿密な打ち合わせを重ね複数職員でのチェックを行う他、必要に応じて職員研修や説明会を行い、システム変更の

ワイン表示の新基 準について

質問 ワイン表示の新基準を受けて支援対策について伺います。

荏崎市長 「荏崎産ワイン産地化推進研究会」を通じて、ぶどうやワインの生産・製造等に対する課題や支援策などに対するご意見をいただく中で、本市独自の支援を検討してまいります。

若年層のネット依 存について

質問 現状の実態について伺います。

荏崎教育長 外部講師を招いての「スマホ・ネットの安全教室」といった学習会をはじめ、児童生徒及び保護者へ使用方法についての指導を行っております。

農地法について

質問 農振除外について伺います。

荏崎市長 農業振興地域からの除外については、地域の実情に合わせた見直しを毎年度、総合的な見直しを概ね5年に1度行っております。



一木 長博 議員
[荏真クラブ]

その他質問

- ◆ 荏崎市行政改革大綱について
- ・ 第5次の重点プロジェクト方針について
- ・ 女性職員の管理職登用について
- ◆ 教職員の働き方について
- ◆ 地域の課題について
- ・ 主要地方道荏崎南アルプス中央線の唐沢橋周辺の道路整備について
- ・ 釜無川河川敷の雑木伐採計画について

平成31年度一般会計予算(案)編成の要点について

質問 平成29年度一般会計決算では、予算現額158億9千万円余に対し

歳入総額は150億円余、歳出総額は145億5千万円余でありました。歳入歳出差引額は4億5千万円余であり、翌年度へ繰り越すべき財源1億4百万円余を控除した3億5千万円余が実質収支額となります。単年度収支は8千万円余となり2年ぶりの赤字ですが、財政調整基金積立金2億8千万円余を加算した実質単年度収支は2億2百万円余の黒字となっております。

また、今議会に市税が10億4千万円余増額補正されました。

このような状況の中で、現在平成31年度予算編成を行っているものと思いますが、歳入歳出の編成

要点についてお示ください。

荏崎市長 歳入については、本年度と同様に市税の増収を見込んでおりますが、普通交付税が減額となる見込みであり国庫支出金等の特定財源の確保に努めてまいります。

歳出においては、明年10月からの消費税増税により物件費などが増額の見込みですが、第7次総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業や市民ニーズに対応した事業を優先的に取り込み、財源の有効活用を図りながら予算編成を進めてまいります。

消防体制の強化について

質問 第7次総合計画において、「女性消防団員の入団促進を図り、女性のもつソフト面を活かした火災予防等の広報活動や防火・応急救護指導など

で女性消防団員が活躍できる体制を整備します」との取り組みの基本方針が示されました。

また、今議会の一般会計補正予算で消防団運営事業費、女性消防団員の装備品購入経費として33万4千円が計上されておりますが、体制整備及び人員規模等についてのお考えをお示しください。

荏崎市長 当面の間、本市消防団活動を側面から支援する女性消防協力隊として、主に家庭での防災・減災対策の普及や火災予防の啓発、有事の際の女性目線による避難所運営の協力などを目的に整備を図ってまいります。

また、人員規模については、地域減災リーダーの資格を有する20名程度を見込んでおり、明年4月から組織を立ち上げる予定であります。

また、今議会に市税が10億4千万円余増額補正されました。

このような状況の中で、現在平成31年度予算編成を行っているものと思いますが、歳入歳出の編成



西野 賢一 議員
[荏政クラブ]

2期目の市長の政治姿勢について

質問 今まで以上に国や

県、近隣自治体との交流がポイントであり、特に国や県に対して積極的な予算配分を獲得していくべきと思うが市長の対外政策について伺います。

荏崎市長 持続可能なまちづくりを進めていくためには国・県補助金等、特定財源の確保や他の自治体との連携がより一層求められるものと認識しており、今後も積極的に国や県に出向く他、全国市長会等の各種団体とも連携して働きかけを行い、首長同士の交流による先駆的な自治体との情報交換などにも努めていきます。

質問 人口問題について、高速道路や鉄道等の整備にあわせ来訪者や物流拠点として人と物が交わる本市を活かし、市を軸としたハブ化構想を研究し

交流人口を増やすべきと考えるが見解を伺います。

荏崎市長 中部横断自動車道やリニアの開通等を見据え、今後更なる交流人口の増加にも注力していく必要がありそうです。主要

交通網沿線にある本市の立地条件を活かしたハブ化構想の研究については、県中部横断道沿線地域活性化ビジョン推進協議会やリニア環境未来都市創造会議を始め、関係機関と連携を図り、今後も本市地域資源を活かした交流人口の増加に向け調査・研究を進めてまいります。

今後の荏崎市の展望について

質問 18歳までの医療費助成について伺います。

荏崎市長 明年度から助成対象を18歳まで拡大し窓口無料化を実施いたします。

質問 助成対象について伺います。

荏崎福祉課長 葉代も対象で所得制限等はなく、市外は償還払いとなります。部活動等、他の保険が有る場合はそちらが優先となります。広報等で周知し該当者へ申請書を

送付します。

質問 運転免許証自主返納者について、本市における支援措置を伺います。

荏崎市長 明年4月から自主的に返納した70歳以上の高齢者を対象に市民バスの無料乗車券1年分を贈呈する等の支援事業の準備をしています。

質問 荏崎警察署移転について、免許証の更新や書類の受領等、事務の一部を取り扱う分署の設置を要望すべきと考えるが見解を伺います。

荏崎市長 県警の方針によるところであり、先方の考えを伺う中で跡地の有効な利活用のあり方を検討してまいります。

質問 市内交通渋滞について、船山橋から北側への20号線の4車線化、荏崎文化ホールから桐沢橋へ抜けるトンネル、鉄道では荏崎駅と新府駅の間へ(仮称)東京エレクトロン駅を設置する等、思い切った手立てが必要と考えるが見解を伺います。

荏崎市長 時差出勤やパークアンドライド等の取り組みが行われていますが、今後も渋滞緩和に向け、地域の実情を考慮する中で新たな視点で調査、研究してまいります。



小沢 栄一 議員
〔荏苒クラブ〕

荏苒市行政改革大綱について

質問 (1) 新たな視点による改革項目について (2) 実施計画の達成状況について伺います。

荏苒市長 (1) 「市民が主役のチーム荏苒」によるまちづくりの推進 「経営的な視点による質の高い行政サービスの提供」 「自立した行財政基盤の構築」の3つを基本方針と定め、SNS、アプリ等の活用による情報発信・共有の強化、市民協働ガイドラインの策定等による「チーム荏苒」の意識醸成、労働時間や休暇等の適正管理といった働き方改革の推進、AIの活用による業務効率化、PPP・PFI等の手法による民間活力の更なる活用等を計画しているところであります。(2) 全推進項目86項目のうち、効果が計画どおり以上の割合は70・8%、財政効果予定

額に対する達成率は125・8%と概ね計画どおり達成できたものと考えております。

荏苒市立病院について

質問 (1) 病院改革プランと経営の見直しについて (2) 患者満足度調査結果について (3) 医師確保と救急医療の見直しについて伺います。

荏苒市長 (1) 公立病院としての役割を果たすため、病院改革プランに基づく経営改善を着実に実行し、今後も地域に愛され信頼される病院づくりに努めてまいります。(2) 調査結果からは接遇・態度の満足度で約6割程度の方から満足若しくはやや満足の評価をいただいておりますが、駐車場の確保と待ち時間の短縮については緊急な課題と捉えております。この結果を踏まえ、病院内の業務改善委員会等により、各診療科でかかる待ち時間の短縮や接遇の改善などを検討し、業務見直しにより時間短縮に努めております。(3) 引き続き常勤医師の確保に努め、救急医療の提供につぎましては、残る

常勤医師で体制を整え、現状の救急医療体制を維持してまいります。

「荏苒市立静心寮」について

質問 (1) 入寮者の状況等について (2) 入寮者一人あたりの年間費用について (3) 閉鎖及び今後の対応について (4) 施設や跡地の利活用について伺います。

荏苒市長 (1) 定員50人に対し、現在の入寮者は6名で、5年前に比べ33人減少しており、亡くなった方や特別養護老人ホームに移った方などが多数いたことがその理由であります。(2) 入寮者一人あたりの経費は約60万円であり、(3) 庁内で慎重に検討を重ね、本人並びに身元引受人に対し、事前に説明したところでありますので、十分な期間確保されていると考えております。また、職員につぎましては、ハロワークなどの連携により、転職をサポートしていきます。(4) 施設や跡地の利活用については、広く意見をお聞きし、有効活用してまいります。



金井 洋介 議員
〔荏苒クラブ〕

まちなかの活性化について

質問 今後の施策について伺います。

荏苒市長 第3期まちなか活性化計画に掲げた、まちなかくつろぎ空間設置・活用事業や空き店舗・事務所対策事業などの27事業を計画的に進めてまいります。また、事業推進にあたりましては、商工会やNPO法人などの関係団体と連携し、各事業の相乗効果を高めてまいります。

質問 空き店舗対策について伺います。

荏苒市長 事情により貸し出し可能な店舗が少なく、課題でありますので、登録件数の増加に努め、創業支援などを通じて魅力的な店舗を増やしてまいります。

質問 今後、「まちなか美術館」のより多くの人々に触れていただくための手法と協力店舗が期待し

ているまちなかの活性化をどのように結びつけていくのか伺います。

荏苒教育長 今後、商工会と連携を図って作品を提供します。また、展示を希望された店舗とも協力し、積極的に市内外へのPRを行い、活性化につなげてまいります。

質問 空き店舗への園児・児童・生徒の作品の展示について伺います。

荏苒市長 作品の展示は、まちなか美術館事業の一環として商工会に提案してまいります。

質問 子どもたちが本物の美術作品に触れる機会が生まれることで、伸ばせる感覚や能力もたくさんあると考えられます。鑑賞の力は、どう感じるかという個別の感覚を育てることもつながります。また、自分が感じたことを誰かに伝える機会というのは、子どもの自己肯定感の成長にとって欠かせないものと思えますが、お考えを伺います。

荏苒教育長 子どもたちの感性や能力というものは、様々な物や事に触れることで才能が開花する

ものです。芸術的分野でも早いうちから機会を与え本物に触れさせることが大切であると私も考えております。

移住・定住対策について

質問 移住希望者と仕事のマッチングを行うことは、夢や幸せを提供することと考えられます。市のホームページからハロワークにもつながりますが、荏苒市で暮らすことに特化した情報提供を行うほうがより親切で実用的です。ホームページでの企業紹介や農業も含めた仕事に関する情報の掲載についてのご見解を求めます。

荏苒市長 移住者向けの情報につぎましては「にらさき移住定住ポータルサイト」に集約し、農業を始めたい方への支援や情報もあわせてご案内しております。また、企業の紹介や求人情報につきましては、リアルタイムに詳細な情報を提供するため、ハロワークのホームページにリンクしているところであります。今後、内容の充実を図り、適切な情報の提供に努めてまいります。



興石 賢一 議員
[協伸クラブ]

2期目を迎えた市長の政治姿勢について

質問 市長就任以来、財政状況の厳しい中、1期目に掲げた公約も着実に実行されており、2期目に対して高く評価するものであります。2期目がスタートし市民の期待は更に増すものと思いますが、今後市政をどのように進められるか伺います。

回答 市長 1期目の市政運営について一定の評価を頂いたと同時に成果の芽を育み開花させてほしいとの大きな期待の現れと感じております。今後、も初心を忘れず市民の声に耳を傾けて「チーム荊崎」のリーダーとして市政運営に邁進します。

人口減少対策について

質問 東京一極集中により地方の人口減少は歯止めのかからない状況で本市の人口も3万人を割り

更に毎月減り続けています。その対策として設置した移住定住相談窓口の状況と効果を伺います。

回答 市長 移住定住相談窓口での対応件数については平成28年度から本年1月末現在で295件と年々増加しており、効果については相談窓口を通じて、お試し住宅の紹介や持家住宅促進助成金等各種施策の展開によりこれまで約9百人の移住・定住に結びついたものと考えております。

リニア中央新幹線及び中部横断自動車道の開通に向けた本市の取組みについて

質問 リニア中央新幹線も2027年には東京―名古屋間が開通予定で山梨―東京間も25分程度となり人口一極集中する東京へは最も近いエリアになります。中部横断自動車道も静岡まで1時間程度となり流通と自然環境に恵まれた山梨・荊崎をPRする絶好のチャンスと思われ、本市における対策等を伺います。

回答 市長 リニア開通に向け県及び関係機関と連

携を図りながら首都圏に向けての情報発信に努め、本市の産業や観光振興に繋がるよう取り組んでまいります。また、中部横断自動車道については開通を見据え沿線地域の活性化を図るための情報交換や検討を進めており、本市の豊かな自然や観光資源、主要都市からのアクセスや利便性等PRを行ったところであります。

老後も安心して暮らせるまちづくりについて

質問 少子高齢化社会の現在、人生100年時代とも言われており、老後も安心して暮らせるまちづくりは大変重要と考えますが、「市民の幸福のため」どのように考えておられるか伺います。

回答 市長 健康で住み慣れた地域で生きがいを持つて暮らし続けることが多くの市民の願いであり、これを実現することが老後も安心して暮らせるまちづくりにつながると考えております。このため健康づくり、生きがいづくりの支援に努めると共に各種福祉サービスや介護サービスを提供しており、更には生涯学習事業を展開しています。



小林恵理子 議員
[日本共産党]

消費税増税問題について

質問 市民生活や地域経済と雇用の担い手である中小企業・小規模事業者には深刻な影響を与える消費税の10%への増税に、地方から反対の意見を政府に上げていくべきです。見解を求めます。

回答 市長 消費税率の引き上げをはじめ多くの課題が山積しており、それぞれに賛否両論があることは周知の事実であります。これら諸課題については、国会等の場で十分審議されるものと認識しています。

小中学校体育館へのエアコン設置について

質問 文部科学省の学校施設環境改善交付金は新増築以外のメニューが用意され、その中の大規模改築事業（空調整備）は普通教室をはじめ体育館

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆水道法の改正について

へのエアコン設置にも活用できるものであります。また、総務省の緊急防災・減災事業債でも指定避難所となっている体育館にエアコンを設置することができ、猛暑による熱中症から子どもたちを守り、災害時の避難所としての防災機能の向上を図るため小中学校の体育館などにエアコンを設置すべきと考えます。見解を求めます。

回答 教育長 体育館へのエアコン設置については、特別教室等の未設置箇所や老朽化した既存設備の更新を優先的に実施すべきと考えているので、設置は困難な状況です。また、猛暑時には教室内の活動に切り替える等の工夫をし、教育上の不都合はそれほどないと考えています。災害時の対応については、臨時的な方法を検討します。

公営住宅管理条例の改定について

質問 国土交通省住宅局長は、平成30年3月30日付で「公営住宅管理標準条例（案）」について「の改正について」を都道府県知事、政令都市の長に送付しました。民法の債権関係規定の見直し、単身高齢者の増加などの最近の状況を反映するためです。市の条例改正では、保証人規定の削除を明確にすること、緊急時の連絡先規定などは設けないことなど、必要とする人々に公営住宅の供給が行き届くような改定が求められます。見解を求めます。また、定住促進住宅サンコーポラス栄は、平成32年度末が退去期限です。引き続き市内で生活できるよう、個々に対して丁寧な相談・支援が必要と考えます。転居後の一定期間の家賃補助なども検討すべきです。見解を求めます。

回答 市長 条例については、民法の改正や国土交通省の通知内容などを踏まえ、法の施行に合わせて適切に対応します。栄住宅については、家賃助成などの支援は考えていませんが、新しい生活に支障がないよう入居者に寄り添いながら丁寧な対応に努めていきます。



渡辺 吉基 議員
[日本共産党]

高校3年生までの医療費助成の拡大について

質問 医療費助成の拡大については2016年3月及び12月、更に本年3月定例会で一般質問を行ってききました。県内の昨年度までの高校3年生までの医療費助成の実施状況は南アルプス市、甲斐市（入院のみ）、市川三郷町、富士川町、身延町、忍野村、山中湖村、鳴沢村の2市3町3村で、今年度からは都留市、甲州市（入院のみ）、南部町、西桂町、富士河口湖町、道志村の2市3町1村でも実施しました。第7次総合計画の基本計画（案）子育ての充実の取り組みの基本方針の中で、「子どもの医療費の助成を18歳まで拡大」とありますが、本市が子育て支援充実のため、医療費助成を高校3年生まで拡大することは、喫緊の課題と考えます。

す。具体的な実施時期についてお聞きします。

重度心身障がい者の医療費窓口無料化の復活について

質問 障がい者や家族、支援者の方々の長年の運動の結果、2008年4月からそれまでの償還払いから窓口無料方式に改善されました。ところが2014年11月に自動還付方式へと後退し、医療機関の窓口で自己負担分を一旦支払うことになりました。2016年4月からは障がい児のみ窓口無料が復活しましたが、重度心身障がい者が安心して医療機関に受診できるよう県に窓口無料化の復活を求めるべきです。見解をお聞かせします。

生活保護基準等の改定について

質問 生活保護の生活扶

助基準は本年10月から平均で1.8%、最大で5%引き下げられました。改定による本市の状況と他の低所得者への影響がないように取られた措置についてお聞かせします。

スクールソーシャルワーカーの配置について

質問 本市でもいじめや不登校、発達障害、家庭の貧困等福祉的な視点が必要な児童生徒への支援ができるようにスクールソーシャルワーカーを配置することが必要です。

農業施策について



功刀 正広 議員
[新生クラブ]

質問 耕作放棄地の削減に向けた今後の取り組みや課題について、市の考えをお伺いいたします。

回答 耕作放棄地の課題につきましては、担い手の高齢化や後継者不足、それに伴う耕作放棄地の拡大であると認識しております。また、削減に向けた取り組みにつきましては、現在、農地中間管理機構を活用した農地の再生利用や農地利用意向調査に基づく借り受け希望者への情報提供を行っており、今後も引き続き担い手や農業生産法人への集積を推進してまいります。

減災に対する取組について

質問 9月18日に開催された「地域防災を担う人づくり」国際シンポジウムにおいて発表された内容の詳細と、今後の減災の取り組みについてお伺いいたします。

その他質問

- ◆学校教育について
 - ・少子化、人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業について
 - ・英語教育について

市道の改修について

質問 市道の改修においても、農道水路新設改良事業のように7割補助を頂きながら、早期実現に向け改修を推し進めるなどの対策が必要であるのではないかと思います。市道の改修についての市の見解をお伺いいたします。

しては、当日の課題にも挙げた女性や若年層の人材育成に努めるとともに、減災リーダーの活動を通じて、地域住民が自ら行動し、災害時に自助・共助の力が自発的に発揮できる意識の向上を図ってまいります。



森本由美子 議員
[公明党]

計画、基本構想について

質問 市議の将来像について、将来を担う若者の声をどう反映させたのか。また、計画の最終年度である2026年の人口目標について伺います。

答 市長 中高生まちづくりカフェの中で、本市の将来像について「自然豊かな文化のまち」「ちょうど良い田舎まち」「地域のつながりが強いまち」などの声が多くあり、これらを反映させるため、市民一人ひとりが幸せを実感でき、誰でも住みたくなくなるさとの実現を目指し「すべての人が輝き幸せを創造するふるさとにらさき」を本市の将来像といたしました。目標としては、2026年の想定人口2万7千人を下回らないよう、さらに移住・定住対策の充実に努めてまいります。

その他質問

- ◆災害時の避難所となる学校・地域体育館へのエアコンの設置について

質問 人口ビジョンの当初の推定から見ると、10年早い速度で人口減少が進んでいますが、市長のビジョンを伺います。

答 市長 総務省の考えでは、2040年には市議の人口が1万8千人になると予想しています。短期的には住宅施策をしっかりと立て直し、中長期的には、交流人口や雇用の展開においても大事な産業の下支えをしていきたいと思っています。今の若い世代がふるさと帰郷の考え方を持ってくれているので、決して希望を失ってはおりません。

女性、子ども、高齢者等に配慮した防災備蓄について

質問 避難所でのエコノミー症候群や床の粉塵を吸うことを防ぐ段ボール簡易ベッドの調達の協定の締結について本市の考えを伺います。

答 市長 避難所生活の環境改善に有効であると

考えますので、今後研究してまいります。

質問 食物アレルギーのある方々にとって避難所生活は大変不安であります。家庭でも備蓄すべきでありますが、被災したときは行政の助けも重要です。アレルギー対応食の備蓄について、現在の状況を伺います。

答 総務課長 現在備蓄しているアルファ米は、1万3千250食中、1万2千2百食がアレルギー対応となっております。今年度購入するものもアレルギー対応食とし、ほぼ100%になります。スプーンやクッキーなどは、今後期限切れ等で買い替えを行う際には、順次アレルギー対応食に切りかえていく考えです。

質問 国内での製造・販売が解禁された液体ミルクは、粉ミルクと同様の成分で常温の保存ができ、災害時には粉ミルクのようにお湯に溶かす必要がなく有効です。避難所や保育園等での備蓄や調達ができる体制が必要と考えるがご所見を伺います。

答 市長 今後、保存期限等を考慮した上で、備蓄や調達方法について検討してまいります。



清水 康雄 議員
[親和クラブ]

国道20号線拡幅計画について

質問 本路線は勝沼・甲府・竜王・更には双葉バイパスが市議消防署西交差点まで4車線化されており、しかし、この先の円野方面につきましては、早期4車線化が期待されておりますが、船山墓地及び市街地、更には釜無川があり、計画が中断されておりました。平成15年に国・県・市の3者による市議地区道路網検討会（のちに名称を「市議地域交通円滑化検討会」とする）を立ち上げ、国道・県道などの主要幹線道路が集中し交通の要衝となっている市議消防署西交差点から七里岩トンネル西交差点までの区間について、数回にわたる検討会議を行いましたが、その後は開催されておられません。市の中心部の渋滞解消と交通安全の確保に向け、4車線

その他質問

- ◆県道甘利山公園線待避所設置について
- ◆甘利沢川の雑木除去について
- ◆鳥獣害対策について
- ◆耕作放棄地対策について

化の早期の実現が望まれておりますが、現在の状況について伺います。

答 市長 国道20号線及び主要交差点の渋滞解消につきましては、早期実現が望ましい課題として、国及び県と共有しており、4車線化の延伸など渋滞対策に関する要望を継続して行っております。このような中で、「市議地域交通円滑化検討会」につきましては、工業団地の造成や道路整備等による影響を経過観察するとして、平成27年7月以降開催されておりましたが、有効な議論の場でありましたので、早期に再開されるよう調整してまいります。

山口地区農業用ため池の改修計画について

質問 本ため池は、山口地区の主要灌漑用水であり、昭和6年に水田耕作者の勤勞奉仕により築造

された施設であります。しかし、土の堤体であるがため、漏水が激しく用水の確保が困難となり、昭和58年度に国の補助を受け全面遮水シート張り工事が実施され、灌漑用水の確保が図られたところでありました。しかし、近年では徐々に水位が低下し、干ばつ期の用水の確保が危惧されております。県営事業として事業採択されたと同っておりますが、シートの設置から35年が経過した今日、一日も早い事業完了を願うものでありますが、今後の計画について伺います。

答 市長 山口ため池につきましては、平成25年度の耐震調査で耐震不足が確認されており、緊急に整備する必要があります。県営事業により、本年度から平成32年度までの計画に基づき、総事業費1億8千万円で事業が開始されております。本年度は測量調査設計を実施しており、明年度より整備工事に着手する予定と伺っております。

■ 韮崎市消防団出初式が挙行されました (平成31年1月13日)

当日は議長をはじめ、議員も出席し、好天のなか団員による規律正しい行進や機敏で確実なポンプ操法など日頃の訓練の成果が披露されました。

現在、韮崎市消防団の団員数は700名以上となっており、11分団に56台の消防車両が配備されています。日頃の献身的な活動に厚くお礼申し上げるとともに、今後も住民の安心で安全な生活を守る「地域防災力の要」として崇高な消防精神をもって、日々ご精進いただけますことをご期待申し上げます。また、市民の皆様におかれましては、引き続き消防団活動にご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。



■ 職員研修『自治体戦略2040構想～人口減少・超高齢社会における自治体の行政経営改革～』への参加 (平成31年1月21日)



総務省自治行政局の職員を講師に招き、今後の自治体行政の在り方を研究するため立ち上げられた総務省の『自治体戦略2040 構想研究会』の研究内容や自治体を取り巻く課題について、職員、行政委員の皆様方と共に研修しました。

講師からは、今後2040年頃には高齢者人口がピークとなり、国の総人口は毎年100万人近く減少するとされていることや、持続可能なまちづくりには自治体による多様な行政展開が必要であることなどが語られました。

市議会ではこれまでも人口減少対策について、各議員が一般質問や研修を行うなど研究しているところですが、引き続き執行部と知恵を出し合い、効果的な施策を推し進めてまいりたいと思います。

編集後記

昨年12月、かねてより造成中でありました「第2期上ノ山・穂坂地区工業団地」の竣工式が執り行われました。「第2期上ノ山・穂坂地区工業団地」は、霊峰富士をはじめ日本の名峰に囲まれた眺望豊かなロケーションと交通アクセスに恵まれた上ノ山・穂坂地区工業団地の拡張として整備されたものであり、地域経済の牽引、雇用の場の創出をさらに後押しする重要な基盤であります。今回整備された5つの区画は企業のニーズに応え、セミオーダー方式で整備

委員会
委員長 宮川 文憲
副委員長 浅川 裕康
委員 西野 賢一
森本 由美子
山本 雄次
清水 康雄
守屋 久

されており、この団地が本市の産業振興を更に推し進める力になることを期待するものであります。市議会といたしまして、企業誘致をはじめ、雇用拡大、定住促進等、引き続き積極的に働きかけを行ってまいります。
(宮川文憲)

- 2月21日 開会
諸報告
市長所信表明
議案審議
財務常任委員会
- 3月 4日 代表質問
5日 一般質問
6日 議案審議
総務教育常任委員会(午後)
7日 市民生活常任委員会(午前)
産業建設常任委員会(午後)
8日 財務常任委員会
13日 議案審議
委員会報告
閉会

■上記日程は予定です。定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※議会だより発行前に開会することもあるので、市ホームページでご確認ください。議会事務局にお問い合わせください。

■委員会の傍聴を希望する方は、開催日の2日前まで(休日を除く。)に申込手続きが必要です。

■本会議は、パソコンやスマートフォン、タブレットで議会ライブ中継をご視聴いただけます。

3月定例会日程(予定)